

「林野庁メールマガジン」

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成21年1月20日 第39号

CONTENTS

1 コラム

【1】『水源の森林について』（水源地治山対策室長）

2 施策紹介

【1】平成21年度林野庁予算の重点事項

【2】「農林水産施策のご利用ガイド」（20年度版）の作成について

3 当庁の動き

【1】「主要木材の短期需給見通し（平成21年第1四半期及び第2四半期）」について

【2】「知床世界自然遺産」シンボルマークの募集について

4 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

美しい森林づくりニュース

森林ボランティア活動情報

イベント情報

【1】「森林の仕事ガイダンス」（林業就業相談会）

【2】平成20年度新生産システムモデル地域事業報告会

【3】平成20年度木材安定供給圏域システムモデル事業による中央研修

【4】平成20年度上下流連携いきいきプロジェクト事業

シンポジウム「川上から川下をつなぐ取組 国産材の時代を確かなものに」

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『水源の森林について』（水源地治山対策室長）

今回は、中山水源地治山対策室長より、水源の森林についてお話しします。

私たちは日常生活でどれくらいの水を使っていると思いますか。家庭や店舗などで使う生活用水は、平均すると1人1日約300リットル、2リットルのペットボトル150本分にもなります。日本は水道の蛇口から安心して水を飲むことができる世界でも数少ない国の

一つですが、この水道の水の源は森林にあります。

日本に降る雨の量は、年間約 1,700 mm で世界平均の 2 倍にもなりますが、人口 1 人当たりでは、世界平均の 5 分の 1 と必ずしも水に恵まれているともいえません。また、急傾斜地が多いため、降った雨がすぐ海に流れ出しやすく、洪水などの水による災害も発生しやすい環境にあります。このため、降った雨を貯え、また洪水を緩和する森林の水源かん養機能は、水を安定的に利用する上で、大変重要な役割を果たしています。

林野庁では、森林の水源かん養機能を高めるために、保安林の指定を行い特別に管理をしたり、治山事業や森林整備事業などを推進しています。また、このような森林の役割を多くの方に知っていただくこと、全国の代表的な水源の森を選定し、「水源の森百選」として紹介しています。林野庁のホームページにも掲載していますので、是非、足を運んでみてください。

2 施策紹介

【1】平成 21 年度林野庁予算の重点事項

平成 21 年度予算において、林野庁は、低炭素社会に向けた森林資源の整備・活用と林業・山村の再生を目指します。このため、以下の項目について、取り組んでまいります。

- (1) 条件不利未整備森林の早期解消等による森林吸収源対策の一層の推進
- (2) 新たな森林経営政策の確立に向けた対策
- (3) 需給変化に対応した木材産業構造の確立と国産材利用拡大
- (4) 社会全体での森林資源の保全・活用による山村再生システムの構築
- (5) 地域の安全・安心の確保に向けた治山対策の推進
- (6) 持続可能な森林経営の実現に向けた国際的な取組の推進
- (7) 国有林野の管理経営の適切かつ効率的な推進

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/policy2/h21yosan/h21juuten.html>

【2】「農林水産施策のご利用ガイド」(20 年度版)の作成について

この度、農林水産省では、当省の補助事業について、利用者である農林漁業者等に対し、よりわかりやすい情報の提供を図り、事業利用に際しての利便性の向上を図ることを目的として、「農林水産施策のご利用ガイド」(毎年度更新)を作成することとしましたのでお知らせします。

今後、利用者の方々の御意見を頂きながら、より利用し易いものとなるよう様々な工夫を加えていきたいと考えております。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/guide/index.html>

3 当庁の動き

【1】「主要木材の短期需給見通し（平成21年第1四半期及び第2四半期）」について

平成20年12月19日に平成20年度木材需給対策中央会議第3回予測部会を開催し、「主要木材の短期需給見通し（平成21年第1四半期及び第2四半期）」を作成しましたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/081222.html>

【2】「知床世界自然遺産」シンボルマークの募集について

「知床世界自然遺産地域連絡会議」（事務局：環境省、林野庁、北海道）では、知床世界自然遺産について広く国内外にアピールしていくため、「知床世界自然遺産」のシンボルマークを定めることとし、1月16日より募集を行いますのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/090115.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

4 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

美しい森林づくりニュース

地球温暖化の防止への貢献や次の世代に美しいみどりを伝えていくため、「伝えたい木の文化、残したい美しい森」をキャッチフレーズに「美しい森林（もり）づくり推進国民運動」が始まっています。

この運動の展開状況についてお知らせすることにより、この運動を多くの国民の皆様にご理解、ご賛同いただくために「美しい森林づくりニュース」を発行しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。（社）国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

イベント情報

【1】「森林の仕事ガイダンス」(林業就業相談会)

森林へおいでよ。

森林での仕事内容や林業で働くまでの流れなど森林の担い手になるための相談にお応えするため、「森林の仕事ガイダンス」を開催します。

開催日 平成 21 年 1 月 23 日(金)～1月24日(土)

場 所 アキバ・スクエア(東京都千代田区外神田)

主 催 全国森林組合連合会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.ringyou.net/~guidance/index.html>

【2】平成 20 年度新生産システムモデル地域事業報告会

新生産システムモデル推進対策事業がスタートして 3 年目を迎えており、全国 11 のモデル地域の担当コンサルタントがこれまでの取組状況とその成果等を報告し、事業成果の普及を図るため開催されます。

開催日 平成 21 年 2 月 17 日(火)

場 所 スクワール麹町(東京都千代田区)

主 催 日本林業技士会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.gishikai.jp/pdf/H20systemhoukoku.pdf>

【3】平成 20 年度木材安定供給圏域システムモデル事業による中央研修

木材生産及び利用の両面にわたる情勢の変化についての最新の情報を提供することによりシステム参加事業者関係者等の見識を高め、人材能力の向上を目的に開催されます。

開催日 平成 21 年 2 月 18 日(水)

場 所 主婦会館プラザエフ(東京都千代田区)

主 催 (財)日本住宅・木材技術センター

【4】平成 20 年度上下流連携いきいきプロジェクト事業

シンポジウム「川上から川下をつなぐ取組 国産材の時代を確かなものに」

都道府県境を超える圏域における上下流の住民や森林・林業関係者が連携して取り組む活動等を普及啓発するとともに、林業・木材産業の活性化と森林環境教育を通じた森林の公益的機能の維持増進等を推進するため開催されます。

開催日 平成 21 年 2 月 25 日（水）
場 所 スクワール麹町（東京都千代田区）
主 催 日本林業技士会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.gishikai.jp/pdf/H20ikiikisimpo.pdf>

編集後記

新年のご挨拶には少し時期が遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。

2009 年となり、新たな年が始まったかと思えば、早くも 1 月下旬。改めて時が経つ早さに驚かされます。寒さが厳しい今日この頃ではありますが、季節の移り変わりがあることで、違った景色・文化・郷土料理など、見て・感じて・味わえる事が出来るのは素晴らしいと思います。お体には気をつけて頂き、季節を感じながら充実した日々をお過ごし下さい。

今年も皆様に林野庁の取り組み等をお伝えすべく、メールマガジンを配信してまいりますので、ご愛読のほど宜しくお願いいたします。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。

PDF ファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、

「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3502-8026

E-mail : <https://www.contact.maff.go.jp/rinya/form/5dd6.html>

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の方法及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>